

## 活動報告

団体名	Borderless Fire
活動名	台風被害の屋根損傷部へ応急処置による生活支援(高所作業の安全管理指導)
活動期間	2019/10/01~2020/3/31
活動の成果	<p>大阪北部地震で痛んだ被災屋根が追い打ちをかけ台風21号で被災家屋が拡大、雨漏り対応するためにブルーシートをかけ土嚢袋で押さえるからスタートがブルーシートも紫外線劣化を考慮した品番へそれも2重にかけると土嚢袋も当然紫外線対応に変更し張替えの時間を延ばす様に努める、自力でブルーシートを張られた被災者の多くが土嚢袋に割れた瓦を入れたり庭や手軽な土を入れており時間が経ち袋から雑草が生え降雨のたびに濡れた状態で乾かず、相当な重量な物になり落下の可能性がある状態が多く見られた。ブルーシート、土嚢袋共に劣化に強い物に移行し土嚢袋の入れる物も砂かバラスで10~15kg程度にその後多くの支援団体が土嚢袋を極力使わない施工を考え出し全面にかけられたブルーシートの損傷部分をピンポイントで張る方向へと進んで行った。災害多発から考え産まれ少人数で体力的にも施工時間も短縮でき自ずから効率の良い施工への移行は限られたボランティアからの産物となりました。全面に張られたブルーシートの張替え時に殆どの屋根瓦が緩みガサガサの状態をよく目にしました。雨漏り被害からカビ被害へと移行し、物的被害から健康被害への移行が見受けられ特に高齢者宅では2階へ長期に上がったことなく雨漏り、カビ被害を知らず放置されているお宅もあり住民が地域での見守りをする必要性を感じた。この状況を地域社会福祉協議会や地域包括支援に繋げ関係機関に理解して頂き活動を進めてきました。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>元消防のスキルを台風被害の損傷屋根（高所作業）に特化した活動を主としてやって来ました。使用道具は個人所有で、高所作業で命を守る消耗品はもしもを考えると躊躇無く廃棄が必要な時もあります。台風21号でボラサポを通じて多くの寄付者からの助成金を頂くまで使用ザイルは命を守る親綱としての役割を終え危険木処理や荷上げ用として使用用途を変更し活用しています。助成金で新たなザイル装備器材を購入し、活動と勉強会と分ける事でザイルの痛みも軽減する事ができ長期使用が出来るようになりました。同様にチェーンソーに関しても、一つ間違えば怪我につながり最悪な場合死亡する道具でもあります。自然災害では必要な道具で、スキルを身に付け労働基準法を遵守し使用する必要があります。現在はボラサポを活用した購入装備品である事を活動に勉強会、講習会毎に伝え多くの方々からの想いや優しさ熱意のこもる道具として活用しています。最後に寄付者の方々、それを繋いで頂いた関係者の方に感謝とお礼を被災者支援活動でお返し出来る様に活動継続致します、本当にありがとうございました。</p>

(活動のようす)

